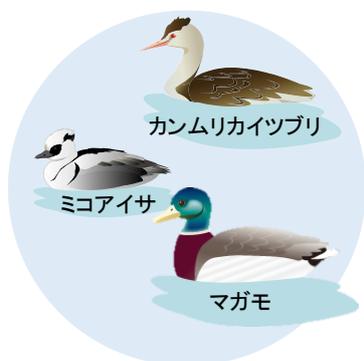


生物多様性

生物多様性は、地球上の生きものの豊かさに関する考え方の1つで、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」、「生態系の多様性」の3つのレベルに分けて考えられます。これらのうち分かりやすいのは種の多様性で、生物種の数であらわします。種の数が多いほど多様性が高いと考えます。現在の伊豆沼・内沼の種の多様性は、昭和55年の洪水被害やオオクチバスの増加により低下しています。伊豆沼・内沼では、洪水被害を受ける以前の頃の自然環境を取り戻すことを目標とした、自然再生事業が行われています。

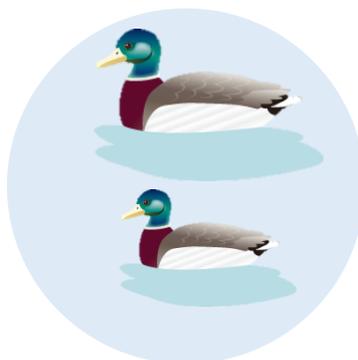
種の多様性

いろいろな種類がいる



遺伝子の多様性

同じ種類でも大きさなどが
少しずつ違う



生態系の多様性

いろいろな生態系がある

